

平成 29 年 2 月 8 日

各 位

上場会社名 株式会社ジョイフル
代表者 代表取締役社長 穴見 くるみ
(コード番号 9942)
問合せ先責任者 取締役管理本部長 小野 哲矢
(TEL 097-551-7131)

個別業績予想値と実績値との差異並びに特別損失計上に関するお知らせ

平成 28 年 10 月 11 日に公表した平成 28 年 12 月期の個別業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

平成 28 年 12 月期通期個別業績予想値との差異

(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想値(A)	百万円 34,622	百万円 1,100	百万円 200	円 銭 6.80
実績値(B)	34,373	1,329	406	13.82
増減額(B-A)	△248	229	206	
増減率(%)	△0.7	20.9	103.2	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 12 月期)	62,861	2,190	1,081	36.78

※通期個別業績につきましては、平成 28 年 1 月 1 日付で持株会社体制へ移行し、直営店舗の運営事業に関して有する権利義務を吸収分割承継会社 11 社に承継させる吸収分割を行っているため、前期実績に比べ大幅に差異が出ております。

1. 個別業績予想値との差異の理由

売上高につきましては、子会社の営業利益が好調に推移し、子会社の営業利益に対して一定料率を乗じて徴収するロイヤリティ収入が増加した一方で、原材料価格が当初見込みを大幅に下回ったため、子会社に対する食材売上高が減少した結果、売上高は 343 億 7 千 3 百万円となりました。

経常利益につきましては、原材料価格が大幅に下回ったことにより売上原価が減少したため、経常利益は 13 億 2 千 9 百万円となり、当期純利益は 4 億 6 百万円となりました。

2. 特別損失(減損損失)の計上について

平成 28 年 12 月期通期決算において、当社で保有する事業用資産及び賃貸用資産のうち、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなっている店舗・物件について減損損失を計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、4 億 4 千 9 百万円であります。

以上